

重点取組2019の取組成果一覧(令和5年(2023年)3月現在)

第4次総合計画の下、令和元年度(2019年度)からの4年間で特に重点的に進める取組を「重点取組2019」としてまとめています。令和5年3月時点での主な取組成果は、以下のとおりです。

1 人権・市民自治

【1】 市民自治の確立に向けて、市民参画・協働の取組の輪が更に広がるよう、コミュニティ活動を支えます。

- 吹田市政全般について若い世代と意見交換するため、市内の大学において、大学生と市長とのタウンミーティングを実施しました。(令和元年度)
- 吹田市内に在住又は在勤、在学している方などで構成される団体などを対象に、地域住民と市長とのタウンミーティングを実施しました。(令和4年度)
- 自治会に対してアンケートを実施し、加入促進の方法を検討しました。(令和元年度)
- 市ホームページで自治会の検索や加入手続きができる仕組みを整えました。(令和元年度)
- 自治会の加入促進に向けて「自治会加入促進等活動補助金」を創設しました。(令和2年度)
- 自治会活動を支援するため、自治会向けにSNSの活用に関する講座等を開催しました。(令和3年度・令和4年度)

2 防災・防犯

【2】 市職員の体制・役割を明確化し、災害対応力の一層の向上に取り組みます。

- 発災時に危機管理室所属となる職員を兼務発令し、災害対策本部運営体制のレベルアップを図りました。(令和3年度)
- 災害時に機能する、より実行性の高い計画とするため、地域防災計画の改訂を行いました。(令和4年度)
- 大型台風等を想定した、避難情報の解除までの流れ及び市と市民の主な行動内容を示したタイムラインを作成しました。(令和3年度)
- 災害時における初動・応急対応及び情報連携体制の充実強化を図るため、市の災害対策本部運営に係る諸室の常設・ワンフロア化に加えて、災害対応オペレーションシステムを備えた「吹田市危機管理センター」を構築しました。(令和4年度)
- JR以南地域及び山田・千里丘地域に防災用備蓄倉庫を整備し、供用を開始しました。(令和元年度)
- 豊津・江坂・南吹田地域の防災用備蓄倉庫を新設し、供用を開始しました。また、片山・岸部地域、千里山・佐井寺地域に暫定的な防災用備蓄倉庫を整備し、供用を開始しました。これにより、市内6ブロック全ての備蓄倉庫の整備が完了しました。(令和4年度)
- 「人と防災未来センター」と連携し、感染症まん延下における避難所開設等に関するガイドライン及び動画を作成しました。(令和2年度)
- ガイドラインに基づく訓練を実施しました。(令和2年度・令和3年度)
- 「人と防災未来センター」と連携した目標管理型災害対応訓練を実施しました。(令和3年度)
- 「人と防災未来センター」や「防災科学技術研究所」などと連携し、吹田市危機管理センターの諸室やシステムを全面的に活用した大規模災害対応訓練及び目標管理型災害対応訓練を実施しました。(令和4年度)
- 令和4年4月に市内で発見された不発弾について、関係機関と連携し同年7月に処理をしました。(令和4年度)
- 「人と防災未来センター」や「防災科学技術研究所」、大阪大学と連携し、令和4年4月に市内で発見された不発弾の処理にかかる一連の対応についての検証を行い、不発弾処理報告書を作成しました。(令和4年度)
- 「関西大学大学院社会安全研究科」や「防災科学技術研究所」と防災の研究に関する連携協定を締結しました。(令和4年度)
- LINEやTwitterを利用した、リアルタイムな災害情報の発信体制を整備しました。(令和元年度)
- ヤフー株と「災害に係る情報発信等に関する協定」を締結し、アプリ等を通じた本市独自の災害情報の配信が可能となりました。(令和2年度)
- 市公式LINEで利用者が求める情報を分類別に受信設定することができるセグメント配信機能を実装したほか、市が管理する道路・公園などの不具合について市へ情報送信ができる不具合通報機能の運用を開始しました。(令和2年度)
- インターネットを通じた災害情報の取得が困難な人を対象に、固定電話やFAXで風水害時の緊急情報をお知らせする「災害情報自動配信サービス」を開始しました。(令和3年度)
- 「災害情報自動配信サービス」を拡充し、携帯電話の操作が不慣れな方への情報配信や、災害時要援護者やその避難行動を支援する者などを対象者に追加しました。(令和4年度)
- 市の公式ホームページのリニューアルに伴い、トップページの緊急情報欄におおさか防災ネットと連動して緊急情報を表示する機能を実装しました。(令和4年度)
- 災害発生時の応急給水体制を強化するため、市内全小学校に組立式給水タンクを配備しました。(令和2年度完了)
- 災害時に応急給水所となる市内小学校36校のうち、9校において、組立式給水タンクの設置など、自治会との合同による応急給水訓練を行いました。(令和3年度)
- 新規採用職員・異動者を対象とした応急給水訓練や自治会との合同による応急給水訓練を小学校において実施しました。(令和3年度9校・令和4年度14校)
- 災害・事故時等において、水道の災害時緊急相互連絡管を使った相互融通を迅速かつ安全に行えるよう、操作訓練を豊中市と共同で実施しました。(令和3年度・令和4年度)
- 災害時給水拠点の機能増強を図るため、整備工事(北千里給水拠点(旧蓮間配水場)、津雲配水場、片山浄水所)を実施しました。(令和3年度・令和4年度)
- 災害時の応急給水における応援受入訓練として、豊中市の協力を得て、小学校に配備した組立式給水タンクへ豊中市保有の給水車からの補水作業を実施しました。(令和4年度)

【3】 市民一人ひとりの防災意識と地域防災力の向上を図ります。

- 地域住民による防災活動を推進し、災害による被害の防止及び軽減を図ることを目的とした「自主防災組織活動支援補助金」を創設しました。(令和2年度)
- 自主防災組織間情報交換会を開催しました。(令和元年度・令和3年度・令和4年度)
- 地域と市による一斉合同防災訓練を実施しました。(令和元年度・令和3年度・令和4年度)
- 「自主防災組織活動支援補助金」について、令和5年度から自主防災組織による備蓄食料の購入に係る経費を補助対象とするよう制度の拡充を行いました。(令和4年度)
- 現在までに、市内11地区の自治会などの地域支援組織と災害時要援護者支援に関する協定を締結しています。(令和4年度)
- 災害時要援護者避難支援ハンドブックを作成し、地域支援組織に配付するなど個別支援計画策定の支援を行っています。
- 福祉避難所の体制強化のため、開設時の案内標識や簡易トイレ・ポータブル電源などの設備品を配備しました。(令和2年度)
- 災害時要援護者支援制度について、各地区の地域支援組織に対して説明会や勉強会を行いました。(令和3年度:5地区、令和4年度:5地区)

【4】 超高齢社会等にも対応できるよう、更なる消防力の充実を図ります。

- 1 消防需要に広域的に対応し、消防サービスの高度化を図るため、吹田市と豊中市・池田市・箕面市・摂津市との5市での消防通信指令業務の共同運用(令和6年度に北部消防庁舎等複合施設にて開始予定)に向け、指令センターの設計・構築業務を進めています。(令和3年度・令和4年度)
- 2 阪急南千里駅前に令和6年度開設を予定している北部消防庁舎等複合施設の建設工事を実施しています。(令和3年度・令和4年度)

【5】 市民一人ひとりの防犯意識を高めるための取組や関係機関との連携強化により、地域の防犯力の向上に努めます。

- 吹田警察署と連携し、定期的に防犯講座や啓発活動を実施しています。
吹田警察署、吹田防犯協議会と合同で、全国地域安全運動のキャンペーンを行いました。(令和4年度)
- 1 各小学校PTAの「安心安全マップ」作成を支援しています。
令和3年度から令和5年度にかけて337台の街頭防犯カメラを増設します。
小学生を対象とした防犯教室(出前授業)を開始しました。(令和4年度から)
 - 2 現在、公園に設置している80台の防犯カメラを運用するとともに、防犯カメラ付き自動販売機設置のための実証実験を行いました。(実証実験は令和元年度・令和2年度をもって終了)

3 福祉・健康

【6】 北大阪健康医療都市(健都)で実施する先駆的な取組を全市に広げ、効果的に健康寿命を延伸する健康・医療のまちづくりを進めます。

- 「健康・医療のまちづくり」基本方針に基づき、健都内外の企業・大学・研究機関・住民等と連携した健康寿命延伸の取組を進めています。
市民が「自分らしく、笑って、輝く」ための、「暮らし」にとけこむ健康づくりに全庁横断的に取り組んでいくため、「健康寿命延伸にかかる庁内基本方針」を策定しました。(令和2年度)
世界レベルのバイオ研究ネットワークの構築を目指す、文部科学省の10年にわたる長期のプロジェクト「共創の場形成支援プログラム」に令和2年度に採択され、市民の生涯にわたる健康・医療情報を健康づくりや研究・開発等に利活用するための取組を進めています。
- 1 産学官民の共創により、市民の健康に資する製品・サービスを生み出すとともに、市民の行動変容を促す仕組み(プラットフォーム)を構築するための検討や試行的取組を進めました。(令和3年度、令和4年度)
産学と民(市民)をつなげる仕組みとして、LINEを活用した「健都ヘルスサポーター制度」の運用を令和4年3月に開始しました。サポーターとなった市民に企業等のヘルスケアに関する製品・サービスを体験いただく「地域実証事業」を通じ、健康に関する気づきを市民に提供するなど、健康づくりの支援を行っています。また、地域実証事業に参加したサポーターからの意見に基づく製品・サービスの開発・社会実装を支援することで、市民のニーズに合った製品・サービスの開発を推進しています。
 - 2 高齢者向けウェルネス住宅(patona吹田健都)が令和元年11月に竣工し、令和2年2月から入居が開始しました。運営事業者において、生活習慣病予防や介護予防を特に意識したプログラムなどが展開されています。
 - 3 市民の積極的かつ継続的な健康づくりを支援する拠点として、図書館を多機能化させた「健都ライブラリー」をオープンしました。(令和2年度)
健都ライブラリーと健都レールサイド公園を一体的に活用し、民間のノウハウを生かした運動プログラムや健康づくりイベントを継続的に実施するほか、体組成計の測定結果を踏まえた健康相談を実施する等、健康増進の取組を進めています。
 - 4 令和2年度に心不全の予防医療の研究を進める覚書を国立循環器病研究センター、吹田市医師会と締結し、連携・協力して、市の健診受診者を対象とした「健都」循環器病予防プロジェクトを開始しました。研究に同意された市民のうち心不全リスクのある市民を予測し、保健指導を実施するとともに、市報やホームページを活用して、心不全の予防についての啓発に努めました。(令和3年3月から令和4年度まで)
国立循環器病研究センター、大阪大学と連携・協力し、健診情報の一体的分析による健康課題の見える化、生活習慣病の改善につなげるプログラムの開発等により、子供と保護者の健康づくりを支援する「子供と保護者の健康支援プロジェクト」を開始しました。(令和3年度)
心不全と認知症に関するコホート研究として、感覚器(聴覚、視覚、嗅覚)と歯科、生活習慣等もあわせて調査する「吹田研究NEXT」を、国立循環器病研究センターと開始しました。(令和3年度)
国立循環器病研究センターと吹田フレイル予防ネットを構築し、脳卒中軽症退院患者への支援を市内全域で開始しました。(令和4年度から)
生活習慣改善を促すツールとして、母子健康手帳機能の一部を備えた親子健康応援アプリを開発し、運用を開始しました。(令和4年度)
 - 5 健都イノベーションパーク内に、国立健康・栄養研究所のほか多様な企業等の研究施設が入居する健都イノベーションパークNKビル(アライアンズ棟)がオープンしました。(令和4年度)
国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所と、相互に連携及び協力を行うことにより、各々の活動の充実を図るとともに、地域の発展に寄与することを目的として連携協定を締結しました。(令和4年度)
 - 6 健都の近隣で進められている「Suita サステナブル・スマートタウン(Suita SST)」と相互に緊密な連携を図ることにより、健都をはじめとした、本市における持続可能なまちづくりを更に推進するため、パナソニック(株)と連携協定を締結しました。(令和元年度)
Suita SSTにおける、無線通信により水道使用量などを自動で検針できる水道スマートメーターの実証実験に関する協定をパナソニック(株)等と締結しました。(令和3年度)

【7】 中核市への移行により、新たに得た権限を活用し、より行き届いたサービスを提供します。

- 1 令和2年4月の中核市への移行により、大阪府から保健所の移管を受け、市民により近いところで、新型コロナウイルス感染症対策をはじめとした保健医療業務を行っています。
保健所の持つ専門性をより発揮できる組織体制とするため、医療への監視・指導をはじめとする専門的な業務に保健所を特化させました。(令和4年4月から)

【8】 健康意識の向上や病気の早期発見につながるよう、各種検診を始めとする保健サービスを更に充実します。

妊婦歯科健康診査に加え、出産後1年未満の産婦を対象とした産婦歯科健康診査を開始しました。(令和元年10月から)
胃がん検診(胃内視鏡検査)を開始しました。(令和2年1月から)
健(検)診の受診率向上のため、受診方法や内容などに関するガイドブックの全戸配布や、国立がん研究センター作成のちらしを活用した個別勧奨を行いました。(令和3年度から)

1 市公式LINEの活用や、市民に身近なスーパーや薬局にポスターを掲示するなど、受診率向上策や健康づくりに関する情報発信に努めています。
令和2年度に心不全の予防医療の研究を進める覚書を国立循環器病研究センター、吹田市医師会と締結し、連携・協力して、市の健診受診者を対象とした「健都」循環器病予防プロジェクトを開始しました。研究に同意された市民のうち心不全リスクのある市民を予測し、保健指導を実施するとともに、市報やホームページを活用して、心不全の予防についての啓発に努めました。(令和3年度から令和4年度まで)

国の基準による特定不妊治療費助成の対象とならない方に対し、市独自の特定不妊治療費助成を行いました。(令和元年度、令和2年度)
※国の制度拡充により、市独自の助成は令和2年度をもって終了

2 令和3年4月1日以降に実施された特定の不育症検査及び治療を対象として、国の基準に基づく検査費助成及び市独自の治療費助成を開始しました。(令和4年1月から)

3 健康すいた21(第3次)を策定しました。(令和3年度)

禁煙治療費一部助成事業を継続するとともに、発がんリスクなどたばこの健康への影響について、妊娠届出の際やSNSでの発信など、様々な機会を通じた啓発や、禁煙についての相談支援を実施しています。

4 「スモークフリーシティ(たばこの煙のないまち)・すいた」の実現を目指すため、「吹田市スモークフリー推進市内方針」に基づき、令和3年度に中長期的な取組方向を示した「ロードマップ」を作成しました。ロードマップでは「機運醸成」「禁煙支援」「たばこを吸わせない教育」を取組の3本柱として掲げ、全庁を挙げて取組を進めています。また、公共的空間での「受動喫煙防止」「環境美化」への対応とともに、喫煙者に禁煙を促すことを目的に、JR吹田駅北口、JR岸辺駅北口に「卒煙支援ブース(禁煙を促す密閉型喫煙所)」を令和5年4月に設置します。

【9】 かかりつけ医等の定着を促進し、在宅医療推進のための環境づくり、救急医療体制の確保など、地域医療体制の充実を図ります。

吹田市地域医療推進懇談会で議論した、かかりつけ医を持つことを促進する市民啓発の取組について、医療従事者と共有を図り、ホームページで啓発を開始しました。(令和2年度)

1 1 かかりつけ医等に関する市民啓発リーフレットを作成し、配布しました。(令和3年度)
みんなで医療を考える月間(11月)に合わせ、かかりつけ医啓発を含めたホームページを公開しました。(令和4年度)

2 青山台の旧ドナルド・マクドナルド・ハウスおおさか・すいたを改修し、令和2年5月に休日急病診療所を移転開設しました。

【10】 高齢者の社会参加を促進するとともに、「医療」「介護」「介護予防」「生活支援」などのサービスが連携して提供される地域包括ケアシステムの更なる構築を図ります。

1 乳幼児から高齢者までの市民が、気軽に利用できる世代間交流の場である、ふれあい交流サロンを、令和元年度、令和2年度に1か所ずつ、令和4年度に3か所増設し、11か所開設しています。

きらきら脳トレ体操など吹田市オリジナル介護予防体操の普及・継続支援に努めるとともに、介護予防活動の記録など自己管理のための、はつらつ元気手帳(介護予防手帳)を作成しました。また、低栄養予防のためのはつらつ元気レシピ集を作成するとともに、随時レシピも追加し、市のホームページ等で公開しています。介護予防推進員等運営ボランティアが中心となって週1回実施する「ひろばde体操」は、令和4年度に4会場増設し、21会場となりました。

2 福祉部と健康医療部と協働で、加齢性難聴に関する啓発を開始しました。(令和3年度から)
高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施について、大阪府後期高齢者医療広域連合から受託し、取組内容の充実を図っています。フレイルリスクの高い人を対象として栄養・口腔・健康状態不明者に関する個別支援を行っているほか、広く市民にフレイル予防等を知ってもらうために、講演会や相談会、低栄養リスクチェック、ICTを活用した脳体力測定等に取り組んでいます。また、KDB(国保データベースシステム)等分析結果を公開し、啓発を進めています。(令和3年度から)
国立循環器病研究センターと吹田フレイル予防ネットを構築し、脳卒中軽症退院患者への支援を市内全域で開始しました。(令和4年度から)

徘徊高齢者の検索のためのみまもりあいステッカーとみまもりあいアプリについて、市主催講座や会議等の機会に普及・啓発に努めています。(令和2年度から)

3 令和4年度末までに、認知症サポーター養成講座を累計28,386人が受講しました。
「すいた年輪サポートナビ」にこれまでの医療・介護資源情報に加え、高齢者の日常生活をサポートする情報を追加掲載しました。(令和4年度)

【11】 吹田健やか年輪プランに掲げる必要整備見込数に基づき、地域密着型サービス事業所の整備を推進します。

第7期吹田健やか年輪プラン(吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画)に基づき、認知症高齢者グループホーム2か所、小規模特別養護老人ホーム2か所、看護小規模多機能型居宅介護1か所の整備事業者を選定しました。(令和元年度・令和2年度)

1 第8期吹田健やか年輪プランに基づき、認知症高齢者グループホーム2か所、小規模特別養護老人ホーム2か所、小規模多機能型居宅介護1か所、定期巡回・随時対応型訪問介護看護1か所の整備事業者を選定しました。(令和3年度・令和4年度)

2 北千里保育園跡地を活用した、認知症高齢者グループホーム1か所及び小規模特別養護老人ホーム1か所の設置に向けて、事業者により整備が進められ、令和5年3月に開設しました。(令和3年度・令和4年度)

【12】 障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、障がい福祉サービスや相談支援体制の充実を図ります。

- 1 合理的配慮庁内推進会議を立ち上げ、障がいに対応した情報伝達や提供の方法等について情報共有を行いました。(令和元年度)
市内6カ所に障がい者相談支援センターを設置し、地域の相談窓口として、相談支援体制の充実・機能強化を図りました。(令和元年度から令和4年度)
障がい福祉施策の総合的・計画的な推進のため、第6期障がい福祉計画及び第2期障がい児福祉計画を策定しました。(令和2年度)
- 2 障がい者(児)の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、支援を行う事業所への補助制度を創設しました。(令和元年度)
グループホーム運営補助制度を令和2年度に再構築し、令和3年度には補助対象を非営利法人以外にも拡充しました。
新規開設事業所の家賃補助制度及び日中活動系サービスの送迎車両購入費用に対する補助制度を創設しました。(令和2年度)※新規開設事業所の家賃補助制度は令和3年度末をもって終了
- 2 医療的ケアを要する障がい者に対する支援体制の充実に向け、障害者支援交流センター「あいほうぶ吹田」への指定管理者制度導入も含めた促進策の検討を行いました。(令和3年度)
障がい福祉サービス事業所等に新型コロナウイルス感染防止用物品等の配付を行いました。(令和2年度から令和4年度)
障がいによって就労が困難な人に対し、創作的活動や地域社会との交流の機会を提供するなど、障がい者の居場所として、地域活動支援センターを新たに設置しました。(令和4年度)

4 子育て・学び

【13】 保育の質を低下させることなく、幅広い保育ニーズに対応します。

- 1 吹田市内の認可保育所・認定こども園・小規模保育事業所・事業所内保育事業所で働きたい方と、人材を求める保育事業者のマッチングを支援するため、「保育士・保育所支援センター」を立ち上げました。(令和2年度)
- 2 保育所一斉受付のWeb予約を開始し、待ち時間の縮減に取り組みました。(令和元年度)
- 3 北千里保育園跡地を活用して保育所を開所しました。(令和4年度)
保育所が不足している豊津・江坂・南吹田区域において、保育所設置(令和5年度開所予定)に向け、設置事業者により整備を進めています。(令和4年度)

【14】 子育て世帯の負担軽減、育児への不安や孤立の解消などのため、子育て支援を一層充実します。

- 1 病児・病後児保育室を既存の3施設に加えて新たに3施設整備しました。(令和元年度)
病児・病後児保育利用のWeb予約を開始しました。また、利用対象年齢を小学1年生まで拡大しました。(令和2年度)
- 2 子ども医療費助成の対象年齢を、18歳到達年度末まで引き上げました。(令和2年度)
子ども医療費助成の対象に、精神病床への入院を追加しました。(令和3年度)
- 3 こども発達支援センターに児童発達専門医による発達外来を開設しました。(令和元年度)
医療的ケアを必要とする児童についての関係機関による協議の場を設置しました。(令和元年度)
障がい児通所支援事業所に対する研修・機関支援の実施に向けて、21カ所の事業所に対し、訪問調査を実施しました。(令和2年度)
子供の発達などに悩みや心配のある保護者を対象とした、子供との関わり方などについての講習(ペアレント・プログラム、トレーニング)を実施しました。また、支援者向けの講座を開催しました。(令和3年度)
5歳から就学までの児童を対象とした発達相談(おひさま相談)を開始しました。(令和4年度)

【15】 児童虐待防止のため、子ども家庭総合支援拠点を整備し、未来ある子供たちの命と成長を守ります。

- 1 増え続ける児童虐待相談に対し、より専門的に対応できるよう吹田市子ども家庭総合支援拠点を設置しました。(令和2年度)
- 2 父親向けの子育て支援講座を開催し、今後の事業実施に向けたニーズ調査を行いました。(令和元年度)

【16】 総合教育会議の場を通じて、学校におけるいじめ対応力の向上・強化を図ります。

- 1 総合教育会議を開催し、市長と教育委員会が連携して、いじめ防止などの課題や市の教育の方向性を共有しました。(令和元年度・令和2年度・令和3年度・令和4年度)
- 2 いじめのない学校づくりの実現を目指し、「すいたGRE・ENスクールプロジェクト」に取り組んでいます。(令和2年度から)
スクールソーシャルワーカーの配置時間を拡充するとともに、専任のスクールカウンセラー及びいじめ対応支援員を増員しました。(令和元年度)
SOSカードの全児童・生徒への配付などを行いました。(令和元年度・令和2年度)
いじめの未然防止、早期発見、早期対応につなげることを目的とし、GIGAスクール構想に基づく1人1台の学習用端末を活用し、児童・生徒のヘルプサインを学校や教育委員会に直接送信できるいじめ防止相談ツール「マモレポ」の運用を開始しました。(令和2年度)
全小・中学校において、児童・生徒を対象に学校風土いじめ調査を実施しました。(令和2年度)
- 2 文部科学省によるいじめ対策・不登校支援等推進事業の委託を受け、一部の小・中学校において、学校風土いじめ調査等を実施しました。(令和3年度・4年度)同事業の中で、いじめ加害児童・生徒への指導プログラムや被害児童・生徒への支援プログラムの開発及びそれらを取り入れたいじめ予防プログラムの開発に取り組みました。(令和3年度)
さらに、これらの学校において、1人1台端末を活用したデジタル健康観察「デイケン」を実施し、児童・生徒の日々の心身の健康状態を継続的にデータとして蓄積、分析することによる、自殺、いじめ、不登校等のリスクの科学的スクリーニングの実証に取り組んでいます。(令和4年度)
全小・中学校において、全教職員を対象に、いじめ予防リーダーによるいじめ予防校内研修を、また、児童・生徒を対象に、いじめ予防授業を実施しました。(令和2年度・令和3年度・令和4年度)

【17】 学校教育における子供たちの資質や能力を育むとともに、課題解決に向けたきめ細かなサポートの充実を図ります。

- 1 環境問題について関心を深めるため、(公財)千里リサイクルプラザと連携し、環境学習発表会や環境学習展示発表会を実施しました。(令和元年度・令和3年度)
英語体験学習として、小学4年生を対象に「すいたえいごkids」、小学6年生を対象に「すいたえいごweek」を実施しました。(令和元年度)
「SUITA Smile Happy day」として、小学6年生を対象に、各学校においてネイティブ・スピーカーによる実践的なコミュニケーション体験活動を実施しました。(令和3年度)
- 2 英語力向上のため、小・中学校に配置する英語指導助手を増員し、配置期間を延長しています。(令和2年度から)
大阪府が持つ府費負担教職員の人事権移譲を目指し、検討を進めています。
特色ある学校づくりを進めるため、スクールプロジェクト支援事業として、読書活動の充実や保護者・地域も交えた多様性教育、複数校合同でのプラスバンド活動などの各学校の取組に対し、教育委員会から支援を行いました。(令和元年度)
- 3 同じく、スクールプロジェクト支援事業として、スポーツを通してのインクルーシブ教育、『平和へのささやかな提言』本づくりの各学校の取組に対し、教育委員会から支援を行いました。(令和4年度)
高野台中学校を女子サッカーの拠点校と位置付け、ガンバ大阪派遣コーチによる指導を行いました。(令和元年度・令和2年度)
- 4 吹田市立学校規模等検討委員会を開催し、標準規模を大きく外れる学校の課題整理を行いました。(令和2年度)
学校規模の適正化に対する基本的な考え方を示した、「吹田市学校規模適正化基本方針」を策定しました。(令和3年度)
藤白台小学校の学校規模適正化に向けて、具体的な手法や実施時期等を示した、「吹田市学校規模適正化実施計画(第1期)」を策定しました。(令和4年度)
- 5 学校生活支援などを行うスターター(支援員)を各校1名から、大規模校には2名配置に増員するとともに、配置対象を小学1年生に加え、2年生にも拡大しました。(令和2年度から)

【18】 生徒、保護者の意向、経済的負担への支援策など、様々な観点から、中学校での昼食の望ましいあり方を検討します。

- 1 中学生及びその保護者を対象に、中学校給食に関するアンケートを実施しました。(令和元年度)
今後の望ましい中学校給食について議論するため、中学校給食在り方検討会議を3回開催しました。(令和2年度)
中学校給食在り方検討会議での結論を受け、中学校給食全員喫食の実現に向け、給食センターの整備の検討を開始しました。(令和3年度・令和4年度)

【19】 校舎・体育館の大規模改修を計画的に進め、安全性や学習への関心が高まるよう、小・中学校の環境づくりに取り組みます。

- 1 ICT教育の充実のため、全ての小・中学校の普通教室にプロジェクター及び無線LANを整備しました。(令和元年度)
GIGAスクール構想に基づくタブレット・PCを全児童・生徒に配備しました。(令和2年度)
GIGAスクール構想に基づくタブレット・PCの活用推進のため、小・中学校の特別教室に無線LANを整備しました。(令和4年度)
- 2 小・中学校のトイレを改修しました。(令和元年度:11校、令和2年度:9校)(計画で対象としていた全校のトイレ改修が令和2年度で完了)
- 3 小・中学校の校舎大規模改修工事を実施しました。(令和元年度:13校、令和2年度:11校、令和4年度:11校 ※1つの学校につき複数年にわたり工事を行うため、令和元年度から令和4年度まで工事を行った学校数は25校(延べ35校))
小・中学校の体育館の大規模改修工事を実施しました。(令和元年度:5校、令和2年度:5校、令和3年度:5校、令和4年度:4校)
小・中学校の体育館へのエアコン設置に向けた調査検討業務を実施しました。(令和4年度)
- 4 全小・中学校の特別教室にエアコンを整備しました。(令和3年度)

【20】 自然の家(もくもくの里)の老朽化や変化する利用者ニーズに対応するため、施設改修を実施するとともに、指定管理者制度の活用により、更なる魅力向上を図ります。

- 1 市民の誰もが利用できる生涯学習施設へと設置目的を変更し、施設名称を「自然の家(もくもくの里)」としました。また、指定管理者による管理運営を開始しました。(令和2年度)
宿泊室の間仕切り、トイレの洋式化、空調設備や本館管理棟屋根の改修など、毎年度計画的に施設改修を実施しています。

【21】 図書館や地区公民館など、あらゆる世代にとって、生涯を通じて学べる機会や場の充実を図ります。

- 1 中央図書館の耐震改修や閲覧室の拡大、また、自動扉や多目的トイレ、音声案内の設置などの改修を完了し、リニューアルオープンしました。(令和2年度)
自宅などでも利用者が図書館の貸出サービスを受けられるよう、電子図書の提供を開始しました。(令和3年度)
(仮称)吹田市立図書館サービス基本計画の策定に向けて、市民アンケート調査を実施しました。(令和3年度)
全児童・生徒に対し、GIGAスクール構想に基づくタブレット・PCにおいて電子図書を利用できる環境を整えました。(令和4年度)
江坂図書館について、江坂公園とともに魅力向上を図るため、令和5年度のリニューアルオープンに向けた改修工事を開始しました。(令和4年度)
狭あいの課題がある吹三地区公民館について、現地建替えによる令和6年度の供用開始に向け、設計業務を行いました。(令和4年度)
- 2 公民館標準利用規約により、一定の標準化を図りながら、各館長の判断により地域のニーズに合った館の運営を行っています。

【22】 北千里小学校跡地に地区公民館、図書館、児童館などの機能が融合する新しい形の複合施設を整備します。

- 1 北千里小学校跡地で、公民館、図書館、児童センターの機能を備えた複合施設「まちなかリビング北千里」の開設に向け、建設工事や指定管理者の選定手続きなどを進めました。(令和3年度)
公民館、図書館、児童センターの機能を備えた複合施設「まちなかリビング北千里」を供用開始しました。(令和4年度)

5 環境

【23】 再生可能エネルギー比率の高い電力調達、府内産木材の積極的な利用、食品ロスやプラスチックごみ削減の取組を通して、「もったいない精神」を基本とした環境政策を進めます。

- 気候変動対策を広域的な視点で進めるため、豊中市と共同で「気候非常事態宣言」を表明しました。(令和2年度)
地球温暖化問題の解決に向け、府県を越えた広域的な施策を展開するため、西宮市・尼崎市・豊中市と「地球温暖化対策の自治体間連携に関する基本協定」を締結しました。(令和3年度)
「吹田市電力調達に係る環境配慮方針」に基づき、259の公共施設に再生可能エネルギー比率の高い電力を導入しています。(令和4年度)
- 1 豊中市と連携し、市民を対象に「みんなで簡単やさしい電気の切替キャンペーン(EF電)」を実施し、230を超える世帯が再生可能エネルギー比率の高い電気への切替手続を行いました。(令和2年度)
吹田市からはじまった電気のグループ購入キャンペーンが大阪府へと広がり、大阪府が実施主体となって、本市をはじめ、府内市町村と連携し、市民を対象に再生可能エネルギー比率の高い電気への切替キャンペーン(大阪EF電)を実施しました。(ウクライナ情勢の緊迫化等の影響により令和4年3月11日休止)(令和3年度)
 - 2 浄配水場内での環境負荷低減取組として、佐井寺配水場において、土地貸し方式による小水力発電を開始しました。(令和元年度)
津雲配水場においても、土地貸し方式による小水力発電を開始しました。(令和4年度)
片山浄水所及び津雲配水場に設置する太陽光発電設備の設置工事の契約を締結しました。(令和4年度)
 - 3 環境まちづくり影響評価条例に基づき、対象となる大規模開発事業について、環境取組内容等について審議を行い、質の高い環境取組へ誘導を行いました。(提案書受理件数 令和元年度:1事業 令和2年度:1事業 令和4年度:2事業)
そのほかの大規模開発事業についても、環境まちづくりガイドラインを活用し、地球温暖化対策や良好な景観の形成、地域社会との調和などを促すことで、持続可能なまちづくりへの誘導を行っています。
環境影響評価技術指針及び環境まちづくりガイドラインを改定し、防災の項目を取り入れました。(令和3年度)
 - 4 食品ロス削減に向け、事業者や市民団体と連携し、食品スーパーの店頭で食品ロス削減キャンペーンを実施しました。(令和元年度)
プラスチックごみ削減等、環境問題を意識するきっかけづくりとして、北摂7市3町及び協定締結事業者と協働で、マイバッグ持参促進キャンペーンを実施しました。(令和元年度)
食品ロス削減推進計画を含めた吹田市第3次一般廃棄物処理基本計画を策定しました。(令和3年度)
ごみの発生抑制を最優先とした環境負荷の少ない循環型社会の構築に向け、市民・事業者・行政の三者協働によるごみ減量及び再資源化の取組推進を目的とした吹田市ごみ減量再資源化推進会議を開催しています。(令和元年度2回、令和2年度2回、令和3年度2回、令和4年度2回)
フードドライブ活動を実施し、市民、事業者から提供された食品を、子供食堂等に提供しました。(令和2年度2回、令和3年度2回、令和4年度2回実施)
 - 5 HOYA(株)アイケアカンパニーと協定を締結し、コンタクトレンズの空ケースを8か所で回収しています。(令和2年度開始)
脱プラスチック、食品ロスの削減及び環境教育の推進を図ることを目的として、給食用の牛乳ストローの問題に着目した、教育現場での実践的SDGsアクションの提言を、西宮市・尼崎市・豊中市との連名で関係省庁等に行いました。(令和3年度)
食品ロス削減に向け、スーパー等と連携し、食品を手前からとることを呼びかけるポスターやポップ等を使った店内啓発(てまえどりキャンペーン)を実施しました。(令和4年度)
使い捨てプラスチックの削減、熱中症の予防並びにマイボトルを常に携帯するライフスタイルへの転換及びその定着を図ることで地球温暖化対策に資することを目的に、32か所の市公共施設等に、マイボトル用給水機を設置しています。(令和3年度開始)
使い捨てプラスチックや食品ロスの削減啓発、その他のごみ減量啓発を目的に市民との座談会を3回開催しました。(令和4年度)
 - 5 公共施設において能勢町産材をはじめとした府内産材の利用を促進するためのガイドラインを策定しました。(令和3年度)

【24】 暑熱環境対策を進め、熱中症リスクの抑制に努めます。

- 環境省等と連携する熱中症予防声かけプロジェクト実行委員会の取組に賛同し、市役所で「熱中症予防声かけ出陣式」を開催するなど、熱中症予防の啓発活動を行いました。(令和元年度)
暑熱環境対策の取組を推進する「第2次地球温暖化対策新実行計画」を策定しました。(令和2年度)
開発事業者等に対する高温抑制の誘導など、ヒートアイランド対策の推進に取り組んでいます。
- 1 高齢者を対象に、温度計を見ることで適切にエアコンを使用する調査・研究を実施しました。(令和4年度)
使い捨てプラスチックの削減、熱中症の予防並びにマイボトルを常に携帯するライフスタイルへの転換及びその定着を図ることで地球温暖化対策に資することを目的に、32か所の市公共施設等に、マイボトル用給水機を設置しています。(令和3年度開始)
全小・中学校の特別教室にエアコンを整備しました。(令和3年度)
小・中学校の体育館へのエアコン設置に向けた調査検討業務を実施しました。(令和4年度)

6 都市形成

【25】 周辺と調和した適切な誘導により、地域特性をいかしたまちづくりを推進し、魅力あふれる高質な都市空間づくりを目指します。

- 1 大規模な土地利用転換や開発案件について、事業者や土地所有者と継続して協議・調整を行い、周辺地域と調和する開発とするよう誘導しています。

【26】 パークマネジメントの考え方を参考に、具体的な公園の整備や管理手法を検討するとともに、計画的に緑地の保全と緑化の推進を図ります。

- 新たな時代の都市公園等の整備・管理に関する取組の基本的な方向性を示すものとして「吹田市都市公園等整備・管理方針」を策定しました。(令和2年度)
- 1 同方針に基づく、多様な主体との連携・協働による再整備・管理運営を行うパークマネジメントの手法等を規定するため、都市公園条例等の一部改正を行いました。(令和2年度)
 - 2 江坂公園、桃山公園の目指すべき姿を策定しました。(令和2年度)
江坂公園、桃山公園の指定管理者、Park-PFI事業者の公募を行いました。(令和3年度)
江坂公園、桃山公園の指定管理者制度の運用を開始し、Park-PFI制度を活用した再整備を行っています。(令和4年度)
 - 3 千里北公園、中の島公園の魅力向上に向け、市民アンケートや事業者サウンディングを行いました。(令和3年度)
千里北公園、中の島公園の魅力向上に向け、市民ワークショップや社会実験を行いました。(令和4年度)

【27】 千里ニュータウンの再整備・活性化に向け、千里北地区センター及び竹見台・桃山台近隣センターについて、具体的なまちづくりの検討を進めるとともに、他の近隣センターについても、整備手法を検討します。

- 1 北千里駅前再整備について、民間施行の市街地再開発事業として、都市計画などの手続きや補助採択等に向けた取組を進めていくことを決定しました。(令和4年度)
- 2 竹見台・桃山台の両近隣センターの再整備について、事業実施に向けた検討及び地権者等との調整を行っています。

【28】 千里山、佐井寺、南千里地域の土地利用の適切な誘導や交通事情の改善を目指し、佐井寺西土地区画整理事業を進めます。

- 千里ニュータウンの南端に接する丘陵地において、未整備の都市計画道路の整備とともに良好なまちづくりを行うため、市施行により実施する佐井寺西土地区画整理事業について、都市計画決定を行い、施行区域を決定しました。(令和元年度)
- 1 公共施設の配置等を定める事業計画を策定し、大阪府から事業認可を受け、事業に着手しました。(令和2年度)
事業着手に伴い換地設計を進めました。(令和3年度)
仮換地指定や移転・補償など事業を進め、造成工事を発注しました。また、事業の見直しにより事業計画の変更を行いました。(令和4年度)

【29】 歩行空間が特に狭小な上、交通量が多く、長らく課題となっている上の川沿道について、府市連携による根本的な課題解決に向けた取組を進めます。

- 1 阪急豊津駅から垂水上池公園までの、約300mの区間において、上の川の暗渠化等により上部空間に遊歩道を整備するなど、上の川周辺まちづくりの取組を進めています。
河川を暗渠化する工事に本格着手しました。(令和4年度)

【30】 歩行者や自転車の安全の確保など高質な都市空間の形成を目指し、道路整備をはじめとする環境整備を進めます。

- 1 都市計画道路千里丘朝日が丘線の拡幅による歩道の設置について、大阪府から事業認可を受け、事業に着手しました。(令和2年度)
歩道設置のための用地取得や道路設計を進めています。(令和3年度・令和4年度)
- 2 大阪府が施行している都市計画道路十三高槻線(正雀工区)の整備推進のため、市道の用地取得を行いました。(令和2年度)
- 3 山田三ツ辻を通行する歩行者の安全を確保するため、新八王子橋の歩道整備を目的とした新八王子橋改良工事に着手しました。(令和4年度)

【31】 市内公共交通における課題の抽出や市民ニーズの把握を行うとともに、千里山地区へのコミュニティバスの導入に取り組みます。

- 1 千里山地区コミュニティバスの試験運行を開始しました。(令和3年度)
利用者・近隣住民に向けたアンケート調査を実施しました。(令和4年度)

【32】 JR吹田駅前及び江坂駅前の活性化や利便性の向上に取り組みます。

- 1 令和元年度に設置したJR吹田駅南口周辺将来構想検討会において、当該区域に相応しい将来像について検討を行った試案であるJR吹田駅南口周辺グランドデザイン(案)を作成し、地域関係者と共有しました。(令和3年度)
JR吹田駅周辺の活性化に向け、専門家による講演会を実施し、商業者との情報交換及び課題の共有、意見集約を行い、活性化の在り方について検討を進めました。(令和2年度・令和3年度・令和4年度)
- 2 JR吹田駅に自転車搬送コンベアを設置しました。(令和2年度)
- 3 江坂駅北側へのエレベーター設置に向け、試掘調査を実施しました。(令和元年度)
大阪メロと事業の円滑な推進を図るため、覚書を締結しました。(令和元年度)
大阪メロにおいて、エレベーター設置に関する実施設計が完了しました。(令和3年度)
大阪メロにおいて、エレベーター設置に係る施工業者が決定しました。(令和4年度)
大阪メロや大阪府警察などの関係機関と継続して協議・調整を行っています。

【33】 分譲マンションの適正管理のため、管理組合に対し、セミナー等を実施するとともに、耐震化への支援を行い、安全で良好な住環境の形成を図ります。

- 1 分譲マンションの管理組合への支援として、管理相談やマンション管理セミナーの開催、吹田市マンション管理組合ネットワークの活動支援などを行っています。
吹田市マンション管理適正化推進計画に基づき、マンション管理計画の認定を行っています。(令和4年度開始)
- 2 既存分譲マンションの耐震診断、耐震設計、耐震改修にかかる費用の一部補助を行っています。(令和元年度開始)

【34】 公的責任のもと、水道事業は市が担い、片山浄水所を中心とした水道施設の再構築に取り組むなど、水道システムの更なる強靱化を図ります。

- 「未来につなぐ 市民と育む 信頼のすいた水道」を目指し、今後10年間の水道事業の基本計画である「すいすいビジョン2029」を策定しました。(令和元年度)
- 1 同計画の初年度である令和2年度以降の経営状況を年度ごとにまとめた「すいすいレポート」を作成し、ホームページに公開するなど、事業の「見える化」に努めています。(令和3年度・令和4年度)
 - 2 片山浄水所水処理施設の更新工事及び片山浄水所・泉浄水所連絡管布設工事が完了し、供用を開始しました。(令和3年度)
 - 3 津雲配水場場内管耐震化工事が完了しました。(令和3年度)
 - 4 水道料金の改定により、水道施設の更新や耐震化を進めるために必要な財源を確保し、経営基盤の強化を図りました。(令和2年度)
水道事業の現状や課題などを市民とともに考えることを目的とした「水道いどばた会議」の開催など、市民理解へつながる取組が評価され、優良地方公営企業総務大臣表彰を受賞しました。(令和3年度)
 - 5 広域連携による経営効率化を図るとともに、水道水の安定供給及び災害対応力の確保を目的として、豊中市柿ノ木配水場の共同化に関する覚書を締結しました。(令和2年度)
豊中市及び吹田市による豊中市柿ノ木配水場の共同化に関する協定を締結しました。(令和3年度)
同協定に基づき、蓮間配水場から給水していた区域は、豊中市の柿ノ木配水場と大阪広域水道企業団の千里浄水池からの給水に切り替え、柿ノ木配水場の共同利用を開始するとともに、蓮間配水場の機能を停止し、更新費用の削減を図りました。(令和4年度)
 - 6 泉浄水所において、淀川表流水の安定した取水を継続することを目的として、一津屋取水場・導水管の共同利用に向けて、尼崎市、西宮市、伊丹市と協定を締結し、整備を進めています。(令和3年度から)

【35】 下水道施設の耐震化や雨水レベルアップ整備工事をはじめとする浸水対策に努めるとともに、持続可能な下水道事業の確立に向け、効率的に施設の改築を進めます。

- 大雨に対応するため、中の島町から天道町交番付近までの道路下に、雨水レベルアップ管と分水マンホールの建設を進めています。また、取り込んだ雨水を晴天時に既設下水管へ排水するポンプ施設を、中の島公園内に設置します。(令和5年度完成目標)
- 上の川治水対策に係る雨水管路の整備を行い、供用開始しました。(令和4年度)
- 1 吹田市下水道総合地震対策計画に基づき、広域緊急交通路下に埋設している下水道管路施設の耐震化工事を実施しました。(令和3年度・令和4年度)また、下水処理場の耐震診断を順次進めています。(令和4年度)
下水道管路施設の維持管理及び老朽化対策を円滑に実施するため、「下水道管路施設維持管理等業務」(下水道管路施設の包括的民間委託)を開始しました。(令和3年度)

7 都市魅力

【36】 市への愛着や誇りを一層深め、それを未来へと引き継ぐため、市民とともに市制施行80周年記念事業を進めます。

- 吹田市制施行80周年プロジェクト会議と連携・協力し、キャッチフレーズ・ロゴマークの決定、記念グッズ等の制作、記念誌の作成など、PRに取り組みました。(令和元年度)
- 1 吹田市制施行80周年プロジェクト会議と連携・協力し、記念誌の発行や、葉加瀬太郎氏のコンサート、大阪モノレールの貸切列車でのイベント、市内学生による吹奏楽イベント「Suita Brass Fes 2020」、10年後の未来へ手紙を届ける「吹田未来郵便局」などの事業を実施しました。(令和2年度)

【37】 メイシアターなどを活用し、文化や芸術に触れることができる機会の充実や環境づくりを進めます。

- メイシアターの大規模改修を実施し、リニューアルオープンしました。市制施行80周年、メイシアター開館35周年を記念して、市民を対象とした葉加瀬太郎氏のコンサートを開催しました。(令和2年度)
- 1 吹田にゆかりのあるアーティスト応援のためのクラシックコンサート、ポップスコンサート、人形劇、文楽の公演や、声楽、バレエ、能などを融合した舞台をメイシアターで開催しました。また、無料wi-fiと配信用機器の整備を行いました(令和3年度)
市の委託事業の市民劇場では、分かりやすいストーリー解説付きの親子で楽しめるバレエ公演を実施しました。(令和4年度)

【38】 健康寿命を延ばすため、地域における生涯スポーツの普及・促進に努めるとともに、スポーツに親しめる機会の充実や環境づくりを進めます。

- 中の島・山田の各スポーツグラウンドの改修を完了し、供用を開始しました。(令和元年度)
- 1 片山市民プールの屋内プールの改修を完了し、供用を開始しました。(令和2年度)
北千里・山田の各市民体育館の改修を完了し、供用を開始しました。(令和3年度)
市民体育館等のトランポリンやトレーニングマシン等の備品を更新しました。(令和2年度・令和3年度)
 - 2 総合運動場を人工芝グラウンド・全天候型トラックに改修し、リニューアルオープンしました。(令和2年度)
総合運動場談話室の一部改修によりレスリングマットを常設し、多目的室としての使用を開始しました。(令和3年度)
総合運動場電光掲示板の取替工事を実施しました。(令和4年度)
 - 3 女子サッカーの普及を目指し、ガンバ大阪派遣コーチによる、女子中学生サッカー教室を総合運動場で開催しました。(令和2年度・令和3年度・令和4年度)
 - 4 安全で効果的な全身運動であるノルディックウォーキングを各地区行事等で実施するとともに、更なる普及を図るため研修会を開催し指導者を育成しました。(令和3年度・令和4年度)

【39】 ガンバ大阪のあるまちとして、ホームタウン意識の向上を図ります。

- 小学4年生をスタジアムに招く市民ふれあい事業やパブリックビューイング、J1リーグ市民招待、ガンバ大阪を応援する市内団体の活動支援などを通じて、ガンバ大阪のホームタウン活動を推進しました。(令和元年度)
ガンバ大阪を身近に感じ、吹田市民が一体となって応援する機運を盛り上げる、ホームタウンデザインラッピングバスの運行やホームタウンデザインピブスを市立の幼稚園、保育所、小・中学校へ配布しました。(令和2年度)
「コロナに打ち勝とう!!」プロジェクトとして、トップチームの試合用ユニフォーム(パンツ)に「吹田市」と掲出し、ガンバ大阪と一体となった取組を実施しました。(令和2年度)
- 1 選手ユニフォームパンツ及びインタビューボード等へ「吹田市」を掲出、市立の保育・幼稚園児のスタジアムピッチ体験、幼稚園・小学校へのガンバ大阪コーチ派遣などを実施しました。また、ガンバ大阪吹田後援会が実施する、選手OBによるオンライン講座の開催を支援しました。(令和3年度)
選手ユニフォームパンツ及びインタビューボード等へ「吹田市」を掲出、ホームタウンデザインのラッピングポストの設置、市立の保育・幼稚園児のスタジアムピッチ体験、幼稚園・小学校へのガンバ大阪コーチ派遣などを実施しました。また、ガンバ大阪吹田後援会が実施する、パブリックビューイングの開催を支援しました。(令和4年度)
ガンバボーイ・すいたんのデザインされたご当地ナンバープレートを導入しました。(令和3年度)

【40】 商業・業務施設が立地する上での好条件を生かしながら、商工会議所との情報交換を密にし、積極的に起業・創業支援に取り組めます。

- 関大通りの活性化に向け、商店会や大学と連携・協力して情報共有を図るとともに、商店会が実施する取組に対して補助金を交付するなど、事業活動を支援しました。(令和元年度・令和2年度・令和3年度・令和4年度)
- 1 商工業団体新型コロナウイルス感染症予防対策補助金を創設し、市民が安心して買い物等をするための環境整備を支援しました。(令和2年度)
 - 2 国等から様々な認証・表彰を受けた市内中小企業等を「吹田市の特色ある中小企業」として市ホームページで紹介しています。
- 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者への支援として、吹田商工会議所と連携し、市内事業者向けの支援策情報を発信するポータルサイト「すいたエール」を開設しました。(令和2年度・令和3年度)
- 3 コロナ禍においても、吹田商工会議所や市内事業者と連携して、吹田産業フェアをオンラインで開催しました。(令和3年度)
吹田産業フェアをメシアター及びいずみの園公園で開催し、吹田産業を広く市民に紹介するとともに、地元産業と市民の交流を図りました。(令和4年度)
 - 4 吹田市、吹田商工会議所及び日本政策金融公庫吹田支店で構成する「すいた創業支援ネットワーク」による創業支援に取り組んでいます。(支援による創業者数 令和元年度102人、令和2年度106人、令和3年度123人)

【41】 市内5大学とその学生をまちの魅力創出のパートナーとして、連携・協力した取組を進めます。

- 1 大学連携推進協議会の開催などを通じて、市の魅力創出につながるテーマについて市内5大学と意見交換を行うとともに、大学の授業への職員の講師派遣や課題解決型授業による提案を受ける等の連携事業を実施しています。学生のキャリアデザインの構築に向けた講義等への参画を通して、実際の連携した取組が実現するなど、本市と大学、双方の事業推進につながっています。

【42】 貴重な歴史遺産で国重要文化財である旧西尾家住宅について、建物等に経年劣化が見られることから、耐震対策を含めた大規模修繕を実施します。

- 1 旧西尾家住宅改修の取組を進めています。(令和11年度完了予定)

8 行政経営

【43】 社会をリードする責任のもと、長時間労働の是正を始めとする働き方の見直しを進めるとともに、意欲的な人材の育成や業務プロセス改善の取組等を通じ、効果的・効率的な行政運営に努めます。

- 1 吹田市職員人材育成基本方針において「めざす職員像と果たすべき役割」を明確に示し、国行政機関等への研修生派遣や職員の能力向上のための研修を実施するとともに、人事評価制度を実施して、人材の育成に取り組んでいます。
特定事業主行動計画を定め、職員のワークライフバランスの実現、職員が子育て・介護等をしやすい職場づくり、女性職員の活躍の推進に取り組んでいます。
- 2 時差勤務の拡充や時間外勤務の上限設定、年次休暇取得の奨励など、勤務制度の整備を図るとともに、ICTを含む業務プロセスの見直しや職員の業務負担の平準化などの業務改善に取り組み、長時間労働の縮減を進めました。
働き方改革に資する制度改正として、性別に関わりなく個性や能力を十分に発揮できる社会の実現や少子高齢化対策を目的に、出産子育て休暇及び出生サポート休暇を新設しました。(令和3年度)
PMS(月経前症候群)にも対応できるよう、生理休暇の取得要件を緩和しました。(令和4年度)
- 3 平成31年に定めた「業務プロセスの改善に関する基本的な考え方」に基づき、業務の見直しや民間活力の導入等により、業務プロセス改善の取組を進めています。
「押印見直し方針」に基づき、見直し可能な申請書のうち、全ての書類について、押印廃止又は廃止予定としました。(令和3年度・令和4年度)

【44】 高質で安全なまちづくりに資するため、計画的な利活用や維持管理、長寿命化などの検討を行い、公共施設最適化を推進します。

- 1 公共施設最適化推進のために、一般建築物の個別施設計画を策定しました。(令和2年度)
吹田市公共施設総合管理計画を改訂しました。(令和3年度)
吹田市公共施設総合管理計画に基づき、一般建築物の個別施設計画に沿った事業を推進しました。(令和4年度)

【45】 市民の利便性や情報発信の向上、行政運営の効率化を図るため、ICTの利活用を進め、情報システムの更なる強化を図ります。

- 1 ホームページのリニューアルを実施し、新たにイベントカレンダーなどの機能を実装しました。(令和4年度)
- 2 市公式LINEやTwitter、Facebookなど各種SNSを活用してイベント情報や行政情報などを発信しています。
市公式LINEで利用者が求める情報を分類別に受信設定することができるセグメント配信機能を実装したほか、市が管理する道路・公園などの不具合について市へ情報送信ができる不具合通報機能の運用を開始しました。(令和2年度)
電子申込システムにオンライン決済機能を実装し、税証明の電子申請を開始しました。(令和4年度)
手続の電子化、キャッシュレス決済の導入、システムの標準化など、自治体におけるデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進に市役所全体で取り組んでいます。

【46】 大阪府や近隣市等との連携のもと、SDGsと調和した持続可能なまちの実現に向け、将来を見据えた市政運営を進めます。

【NATS4市による連携】

府県を越えた都市間連携の可能性を探るため、中核市連携シンポジウム「NATS 0(ナッツゼロ)」を開催し、西宮市、尼崎市、豊中市と本市の市長がディスカッションを行いました。(令和元年度)

労働相談窓口の相互利用を開始しました。(令和2年度)

1 地球温暖化問題の解決に向け、府県を越えた広域的な施策を展開するため、「地球温暖化対策の自治体間連携に関する基本協定」を締結しました。(令和3年度)

脱プラスチック、食品ロスの削減及び環境教育の推進を図ることを目的として、給食用の牛乳ストローの問題に着目した、教育現場での実践的SDGsアクションの提言を関係省庁等に行いました。(令和3年度)

施策の進め方や課題への取組の方法など、各市の長所・強みを取り入れて、政策形成や課題解決に生かすことや、これらを通じての人材育成を狙いとし、4市間で府県をまたぐ人事交流を開始しました。(令和4年度)

【豊中市との連携】

市域の枠を越えて気候変動対策に取り組むため、気候非常事態共同宣言を行ったほか、「地球温暖化対策に資する自治体間連携・協力に関する基本協定」を締結し、市民向け再生可能エネルギー比率の高い電力のグループ購入を促進しました。(令和2年度)

2 広域連携による水道事業の経営効率化や水道水の安定供給などを目的として、豊中市柿ノ木配水場の共同化に関し、覚書、協定を締結し、共同利用を開始しました。(令和2年度・令和3年度・令和4年度)

地球温暖化対策に関する啓発活動をより効果的に実施するため、物品の共同調達に関する覚書を締結しました。(令和4年度)

【その他の連携】

消防需要に広域的に対応し、消防サービスの高度化を図るため、吹田市と豊中市・池田市・箕面市・摂津市との5市での消防通信指令業務の共同運用(令和6年度に北部消防庁舎等複合施設にて開始予定)に向け、指令センターの設計・構築業務を進めています。(令和3年度・令和4年度)

3 第4次総合計画に掲げる19の政策について、関連する主なSDGsのゴールを整理し、計画の進捗状況の公表に合わせて示しています。